

札幌第4地方合同庁舎整備計画の進捗報告 及び前回懇談会の概要



国土交通省 北海道開発局営繕部

Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism

1期庁舎 工事の進捗状況①



2025.2.26 時点

1期庁舎 工事の進捗状況②外壁の色彩計画





外装タイル選定状況

前回懇談会の概要③これまでの地域連携懇談会

第1回(令和4年1月)

- ・整備事業概要（配置案）
- ・敷地周辺環境との関係性（条件整理）
- ・ユニバーサルデザイン（これまでの開発局の取組）

第2回(令和4年3月)

- ・庁舎計画（平面計画、プロムナード）
- ・敷地周辺環境との関係性（緑の連続、歴史文化軸）

第3回(令和4年6月)

- ・庁舎計画（コリドー、ミニ美術館）
- ・敷地周辺環境との関係性（建物ボリューム、外観、CG）
- ・ユニバーサルデザインレビュー（検討状況報告）

第4回(令和4年12月)

- ・庁舎計画（設計の詳細、ミニ美術館イメージ）
- ・ユニバーサルデザインレビュー、防災計画（トイレ、授乳室、帰宅困難者受入）
- ・保育園のお散歩同行調査進捗報告（北海道科学大学学生による調査研究報告）

分科会(令和6年7月)

- ・カラーユニバーサルデザイン勉強会

第5回(令和6年12月)

- ・サイン検証の方向性（カラーユニバーサルデザイン・北海道科学大学研究）
- ・札幌第4 合同庁舎2期計画概要説明

第6回(令和7年3月)

- ・1期庁舎工事の進捗報告
- ・パブリックスペース利用について
- ・サインプラン検証（位置、デザイン、カラーユニバーサルデザイン）

知って貰うこと < 外部サインやアイストップ等の考え方 >

・ 知って貰うための4つのポイント

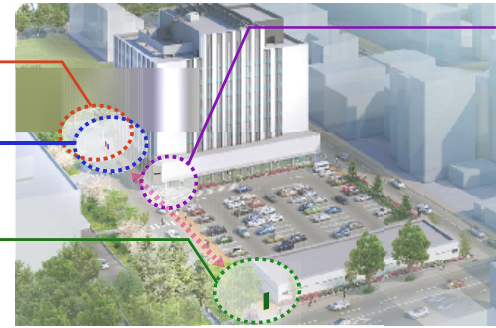
- ① 外部歩行者や周辺地域の人々に施設を知って貰う仕掛けをつくる。
→ アイストップを兼ねた外部サインにより庁舎を知って貰う
- ② 敷地内に人を誘う仕掛けをつくる。
→ 総合案内板や掲示板等のサインにより、敷地内に人々を誘導する。
- ③ 建物内に人を誘う仕掛けをつくる。
→ 施設が明解に分かるサインにより、構内歩行者を施設に誘導する。
- ④ 全てのの人に優しい施設であることを知って貰う仕掛けをつくる。
→ 様々な人が利用可能なことを知って貰う。

屋外総合案内

イベントやお知らせが
知れる掲示板

アイストップを兼ねた
外部サイン < 2期工事 >

館内に誘導する壁面サイン



① - 施設を知って貰う仕掛け -

庁舎の目印となるアイストップを
兼ねた外部サイン < 2期工事整備 >

③ - 建物内に誘う仕掛け -

構内歩行者に施設を知って貰い
館内に誘導する壁面サイン

② - 敷地内に誘う仕掛け -

多様なイベントやお知らせ
が知れる掲示板

第4庁舎の屋外総合案内

北側住宅地側からの動線

お天気広場との
動線連携

お天気公園

今回計画建物

2期工事計画
R11 ~ 12: 庁舎工事
R13: 外構工事

車いす駐車場サイン

① - 施設を知って貰う仕掛け -

庁舎の目印となる
アイストップを兼ねた
外部サイン < 今回工事 >

地下鉄からの
主動線

多様なイベントやお知らせ
が知れる掲示板サイン

第4庁舎の屋外総合案内

③ 構内歩行者に施設を知って貰い
館内に誘導する壁面サイン

構内歩行動線

地下鉄からの
主動線

龍谷高校側
からの動線

西20丁目
通り
市道 市員
20,000

①

②

②

②

②

②

②

②

②

②

②

②

②

②

②

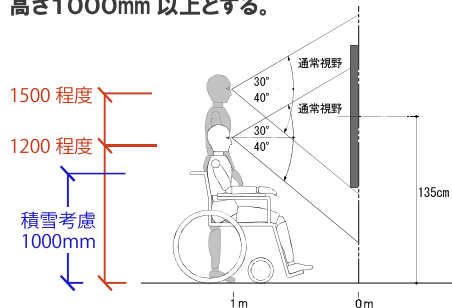
表示方針の基本1 < 高さの整理 >

【表示高さ】

- ・立位の視点は概ね1500mm、車いす利用者の視点は1200mm程度を基準とする。

【積雪地であることへの考慮】

- ・北海道の積雪深を考慮し、外部サインの表示は高さ1000mm以上とする。



表示方針の基本2 < 文字の大きさの整理 >

【文字の大きさ】

- ・近くから視認する自立型や壁付型等の案内サインは4～5m以下、案内サインの見出しなどは10m程度に視距離を設定することが一般であることを前提に、下記の表を参考に文字大きさを設定する。

視距離	和文字高	英文字高
30mの場合 < 壁付外部サイン等 >	120mm 以上	90mm 以上
20mの場合 < 屋外総合案内 A、屋外総合案内 B >	80mm 以上	60mm 以上
10mの場合	40mm 以上	30mm 以上
4～5mの場合	20mm 以上	15mm 以上
1～2mの場合	9mm 以上	7mm 以上

※今回の表記の最小値は10mm以上を基本とする。

表示方針の基本3 < 表記の考え方 >

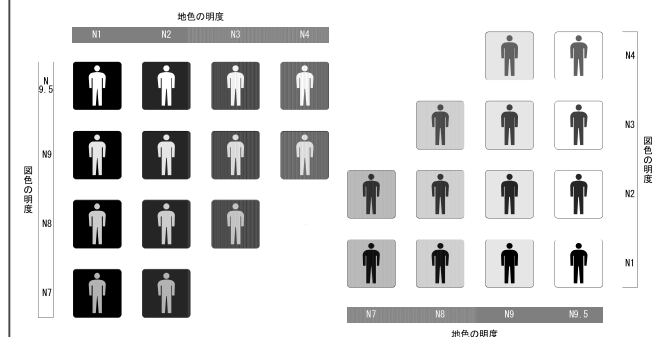
【表記の方針】

- ・表記は和文に加え英語を併記する。文字の大きさは和文を主体とし、左図の表を基に整理を行う。



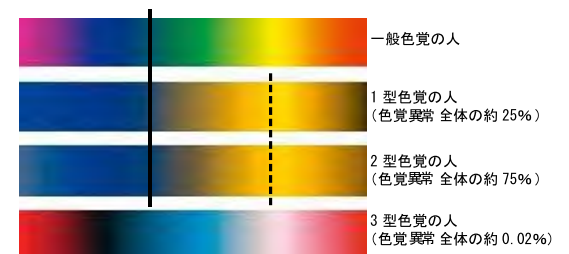
【図色と地色の明度の方針】

- ・図色と地色は明度対比を確保し、容易な識別を図る。



【色弱者を踏まえた色の選定】

- ・色弱者が色の違いを認識し易い色選定に配慮する計画とする。



出典:神奈川県「カラーバリアフリー『色づかいのガイドライン』」平成

表示方針の基本4 < フォントの整理 >

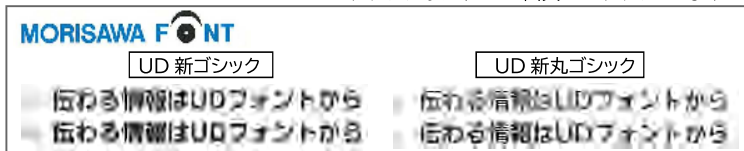
【使用フォント】

- ・使用するフォントは分かり易さに加え、親しみの 持たれる柔らかな UD ゴシックを基本とする。
- ・合同庁舎という専門性を持つ施設であり、観光地や公共交通の場ではないことから、日本語と英語の2か国語表記を基本とする。

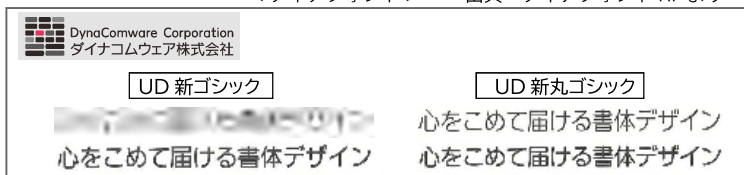
< 国交省参考 >



< モリサワフォント > 出典: モリサワ HP より



< ダイナフォント > 出典: ダイナフォント HP より



< BIZ UD ゴシック BIZ UDP ゴシック > インストールフォント



表示方針の基本5 < ピクトの整理 >

【使用ピクト】

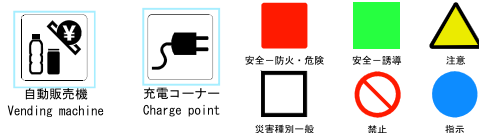
- ・使用するピクトは JIS 規格のピクトを基本とし、誰もが分かり易いピクトを採用します。

【使用予定ピクト】

□: 総合案内 B の表示を想定



< 安全等の案内記号と色 >

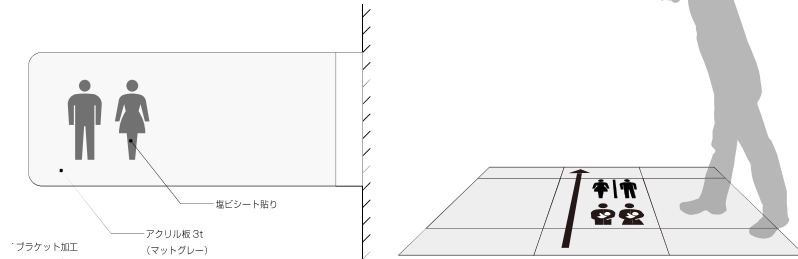


特記なき出典参考: 国土交通省総合政策局バリアフリー作成課「公共交通機関の旅客施設に関する移動円滑化整備ガイドライン」(一部調整)

安全安心に利用して貰う4つのポイント＜セキュリティや利用者誘導の考え方＞

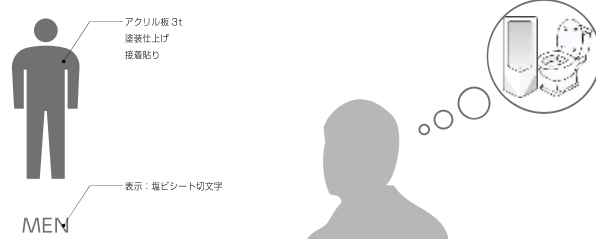
①来庁者に目的の設備まで誘導する仕掛けをつくる。

→**突出し・床サイン**により各設備まで人々を誘導する。



②直感的に設備のイメージを想起させる仕掛けをつくる。

→**ピクトグラム**を用いることで、誰にも直感的にイメージしやすい計画とする。



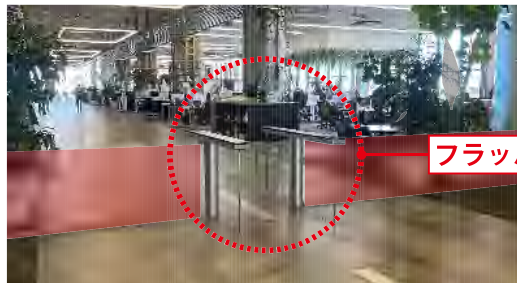
③多様な利用者が利用しやすい仕掛けをつくる。

→室名は**日英の2ヶ国語表記**とし、多様な利用者に配慮した計画とする。

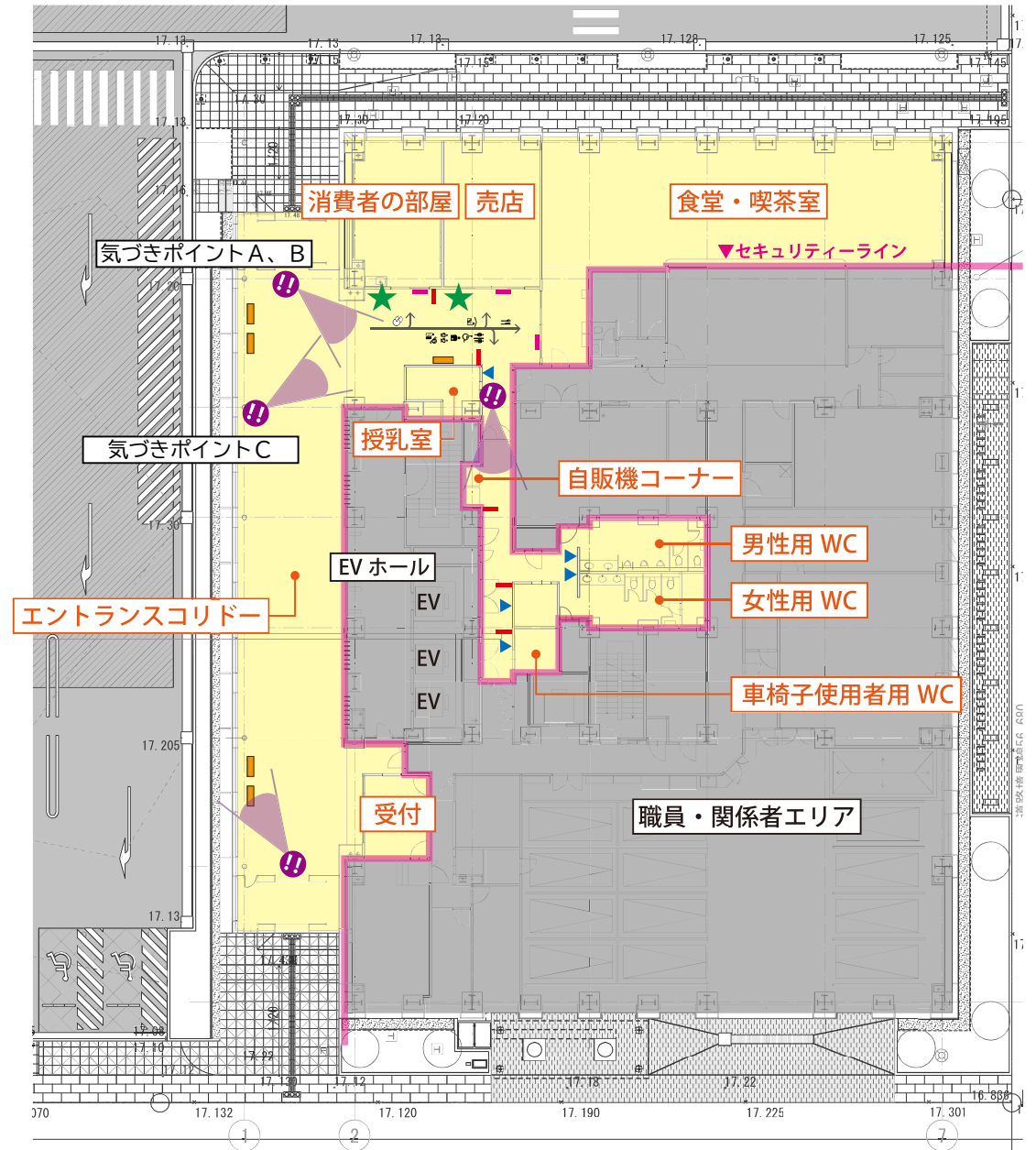
食堂
Cafeteria

④明快なセキュリティ計画により、安心して利用して貰う仕掛けをつくる。

→職員・関係者エリアへの入り口に**フラッパーゲート・電気錠**等を設け、明快なセキュリティを構成する。

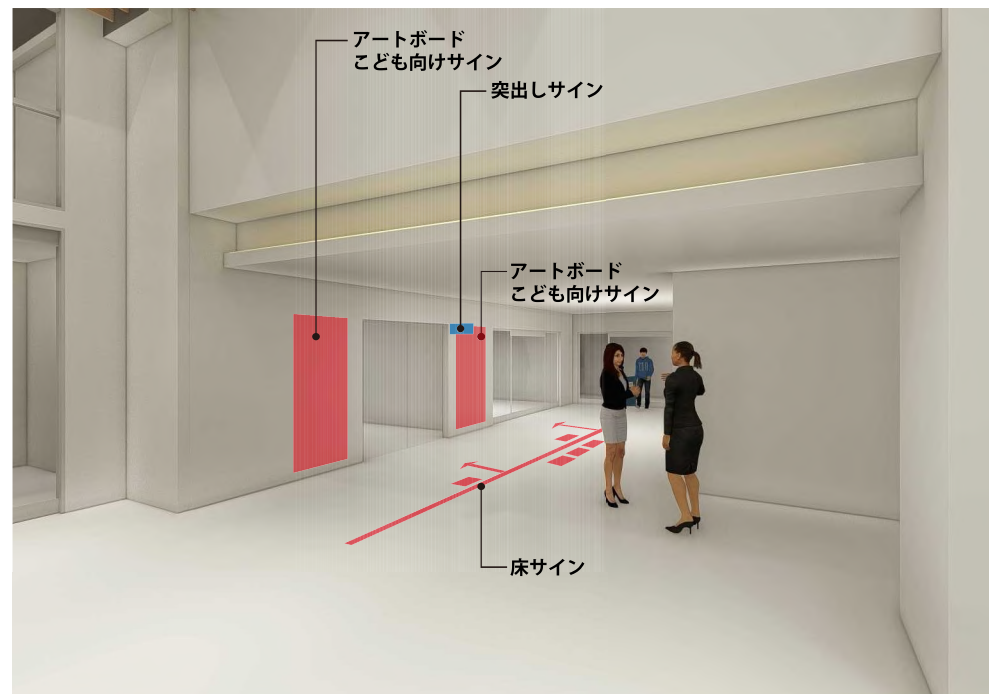


- ▼：壁付けサイン（ピクト）
- ：壁付けサイン（室名）
- ：突出しサイン
- ：屋内総合案内・フロア案内
- ★：アートボード・こども向けサイン
- ：一般来庁者立入り可能範囲
- !!：気づきポイント





気付きポイント A



気付きポイント C



気付きポイント B